

簡易環境制御装置
P コンダクター 2
取り扱い説明書

この度は「P コンダクター 2」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前に、この取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

 警告

- 身体条件がきわめて危険な生命にかかわる場合の使用はおやめください。
- 付属以外の AC アダプタを使用しないでください。加熱によるやけどや火災の原因になります。
- 本製品は精密機器です。分解や改造をしないでください。
- スイッチジャックや AC アダプタジャックの穴に異物を差し込まないでください。
- 音量調整つまみは最小の位置から徐々にまわして音量を上げてください。大きな音量で再生をさせると、周囲の方へ生理的、心理的に危害を与えたり、部品の破損の原因になります。

 注意

- スイッチジャックへは、弊社の指定したスイッチを接続してください。弊社の指定していないスイッチをお使いの場合、使用の可否を弊社へお問い合わせください。
- スイッチジャックへお客様の自作されたスイッチを接続された場合の動作保証はしかねます。
- 濡れた手で使用しないでください。また、唾液などの付着にご注意ください。唾液などが付着した場合には、ただちに乾いた布で拭き取ってください。
- 高温、多湿な場所での使用、保管はしないでください。
- スイッチや AC アダプタのケーブルに余裕を保てる安定した場所で使用してください。
- 本機を落としたり強い力や衝撃を与えないでください。
- 冬季などで低温な場所から多湿な室内などに移動して使用する場合、まれに内部で結露する場合があります。この場合は、1 時間程度室温で放置してからご使用ください。

保証書

お名前		お電話番号	-	-
ご住所	〒			
お買い上げ日	年	月	日	(保証期間:お買い上げ日から1年間)
販売店名				

- 正常なご使用において、製造上の不備により故障した場合は、お買い上げ日から6ヶ月間無料修理をいたします。
- 保証書にお買い上げ年月日、販売店名が明記されていることを確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に修理をご希望の場合には、再度本書の内容をご確認の上、販売店もしくは下記へ保証書を添えてご依頼ください。

連絡先

福祉支援サービス **コミル**

〒577-0801 大阪府東大阪市小阪 2-16-7-102

電話 06-6781-2089 / ファックス 06-6781-2099

ウェブサイト <http://www.comil.jp/> メール info@comil.jp

セット内容

- 本体
- 取り扱い説明書(本書)
- AC アダプタ
- 外部送信ユニット
- 固定用面ファスナ
- チャンネル用シート

操作スイッチの接続

お使いになられる操作スイッチを「入力」ジャックに接続してください。

※スイッチジャックへは、弊社の指定したスイッチを接続してください。弊社の指定していないスイッチをお使いの場合、使用の可否を弊社へお問い合わせください。

※3秒以上入力の保持できるスイッチをお使いください。



以下のスイッチは動作確認済みです。

コミル製 押しボタンスイッチ、ピンチスイッチ、光電スイッチ、タッチスイッチ、マイク/プレススイッチ
エーブルネット製 ジェリービーンスイッチ、ビッグスイッチ、スベックスイッチ

上記以外のスイッチをお使いになる場合には、弊社へお問い合わせください。

※マイク接点出力のスイッチのみ対応しています。オープンコレクタ出力のスイッチには対応していません。

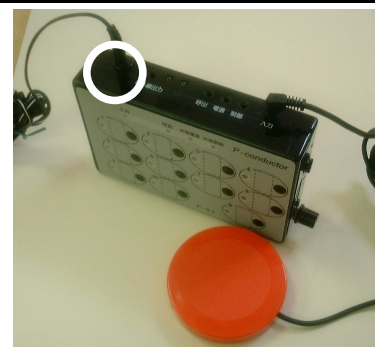
※スイッチジャックへお客様の自作されたスイッチを接続された場合の動作保証は致しかねます。

ACアダプタの接続

1. 付属の AC アダプタを本体上面の電源ジャックに接続してください。

2. AC アダプタの家庭用コンセントに接続してください。

※付属以外の AC アダプタを使用しないでください。加熱によるやけどや火災の原因になります。



設置

P コンダクター 2 本体を、パネル面がご使用の方から見る事ができ、上面の赤外線 LED がテレビなど操作対象機器に向くように設置して下さい。

※上面の赤外線 LED が操作対象機器に向くように設置できない時には、付属の外部送信ユニットを本体の「赤外線出力」のジャックに接続し、外部送信ユニットの球面を操作対象機器に向けてください。



赤外線信号の学習

Pコンダクター 2 はご使用前に、テレビなどの操作対象機器の赤外線信号を覚えさせる「学習」が必要です。Pコンダクター 2 は 17 ～ 20 個の赤外線信号を覚えさせることができます。予め、操作対象の機器と使用する機能を考え、操作対象機器の付属の赤外線リモコンをご用意の上、以下の手順で学習させてください。

1. 本体側面のディップスイッチの 1 番をオン(パネル面側)にボールペンの先などを使って切り替えてください。

2. Pコンダクター 2 のパネルの 1～10 までの学習させたい箇所のボタンを押してください。

※呼出し、外部電源、外部制御の各機能を使う際には、各々 1～3 の箇所には赤外線信号を学習することはできません。

※11 個以上の赤外線信号を学習するためには、B ボタンを押した後に 1～10 のボタンを押してください。

3. 本体右側面の「学習」ランプが点灯したら、「赤外線学習孔」に向けて学習させたい赤外線信号を照射してください。「確認」ランプが点灯したら赤外線信号は正常に学習されています。

※「確認」ランプが点灯しなかった場合には赤外線信号は正常に学習されていません。引き続きパネル面の数字ボタンを押して、再度学習してください。

※学習させる信号を間違えた際には、引き続きパネル面の数字ボタンを押して、再度学習してください。

※エアコンなど、赤外線信号を学習できない機器もあります。予めご了承ください。

4. 同様に上記 2～3 の手順を繰り返して、他の赤外線信号も学習させてください。

5. 学習させたい赤外線信号をすべて学習し終えたら、本体右側面のディップスイッチ 1 番をオフ(背面側)に戻します。

※本体右側面のディップスイッチ 1 番がオフの時にパネル面の数字ボタンを押すと、学習させた信号を照射して動作確認をすることができます。

6. 付属のパネルシールに学習した内容を記入し、パネル面破線枠内に貼ってください。



操作モードの選択と調整

Pコンダクター 2 にはお使いになる方の身体状況に合わせて、「オートスキャンモード」と「マニュアルスキャンモード」の 2 つの操作モードがあります。いずれか 1 つをご選択になり、設定して下さい。

○オートスキャンモード

パネル面上のランプが自動的に移動します。操作を選択するときは、操作スイッチを 3 秒間以上操作し続けてください。

スイッチ操作の回数は少なくすみますが、Pコンダクター 2 のタイミングに合わせて操作をする必要があります。また、数字の大きい箇所に学習させた操作を選択するためには、そこまでランプが移動するまでの待ち時間が長くなります。

ランプの移動する速度は、本体右側面の「スキャンスピード」つまみで 0 から 9 の 10 段階から選択して下さい。

オートスキャンモードを選択する場合には、本体右側面のディップスイッチの 2 番をオン(パネル面側)にしてください。

○マニュアルスキャンモード

パネル面上のランプは手動で移動します。スイッチ操作を 3 秒以内の短い時間行くと、ランプは 1 つ移動します。操作を選択するときは、操作スイッチを 3 秒間以上操作し続けてください。

ランプの移動のタイミングは操作される方が決めることができます。また、数字の大きい箇所に移動するときも、短いスイッチ操作を連続して行えば、待ち時間を少なくすることができます。ただし、スイッチ操作の回数が増えます。

マニュアルスキャンモードの時は、本体右側面の「スキャンスピード」つまみはいずれの数字になっても動作は変わりません。

マニュアルスキャンモードを選択する場合には、本体右側面のディップスイッチの 2 番をオフ(背面側)にしてください。



操作

操作スイッチを操作すると、ランプの移動が始まります。

※操作スイッチの操作に応じて、パネル面「入力」ランプが点灯します。スイッチ操作の目安にお使い下さい。

・オートスキャンモードを選択している時には、自動的に順に数字の大きなボタンのランプが点灯します。移動する速度は本体右側面の「スキャンスピード」つまみで選んでください。(数字が小さいほど早くなります。)

・マニュアルスキャンモードを選択しているときには、短く(3秒以内)スイッチ操作をすると次のボタンのランプが点灯します。

操作スイッチを3秒以上持続して操作すると、そのボタンに学習された赤外線信号が照射されます。

※呼出し、電源、制御の機能を設定している場合には、赤外線信号が照射される代わりに、各の機能が働きます。

※赤外線信号が照射される時や、制御機器が選択された時には「ピ」音が鳴ります。この「ピ」音の大きさは本体右側面の「音量」つまみで調整できます。

音量つまみ



11個目以上の操作をするときには、「B」を選択した後に1～10の数字ボタンを選択してください。

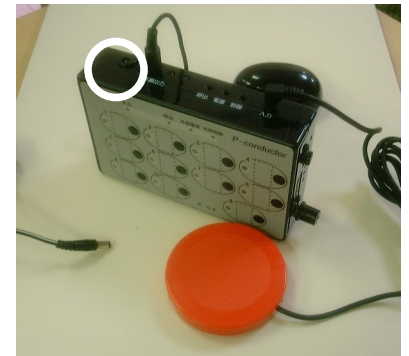
充電

Pコンダクター 2は充電式電池を内蔵しています。

ご家庭や病室などで使われるときは、ACアダプタは付けたままにしてください。

移動される時などは、ACアダプタを外して内蔵充電電池でご使用下さい。

内蔵充電電池で使用しているときに、選択しても操作対象機器が動かなくなったり、ランプが暗くなった場合には、速やかにACアダプタを挿して充電してください。



高度な使い方

Pコンダクター 2は赤外線リモコンで動く対象機器だけでなく、「呼び出し」「電源などの操作」「意思伝達装置など」の操作を行うこともできます。

○呼び出し

チャイムやブザー、ナースコールなどを本体上面の「呼出」ジャックに接続すると、Pコンダクターの操作でチャイムやブザー、ナースコールを鳴らすことができます。

パネルの1番を選ぶとこれらの機器が鳴り続けます。

※機器が鳴っている時にはパネル面の「呼出」ランプが点灯します。

再度3秒以上スイッチ操作をすると鳴りやみます。(ナースコールは更に規定の手順でナースコールを止める操作が必要です。)

「呼び出し」機能を使うときは、本体右側面のディップスイッチの3番をオン(パネル側)にしてください。

また、チャイムやブザーをつなげる時はディップスイッチの4番をオフ(背面側)に、ナースコールをつなげる時はディップスイッチの4番をオン(パネル側)にしてください。

※接続できる機器は接続する端子間が30V 500mA以下のものです。この値を超える機器を接続すると、Pコンダクター本体が故障する原因となります。

※接続する機器やナースコールなどの動作保障は致しかねます。

○外部電源

家庭用コンセントの電源やパソコンの電源操作をすることができます。

パネルの 2 番を選ぶと電源が入り、再度 2 番を選ぶと電源が切れます。

「外部電源」機能を使うときは、本体右側面のディップスイッチの 5 番をオン(パネル側)にしてください。

家庭用コンセントを操作するには、別売りの「リモコンリレー」(デルカテック製)を本体上面の「電源」ジャックに接続してください。また、ディップスイッチの 6 番をオン(パネル側)にしてください。

※リモコンリレーを接続するためには、リモコンリレーにケーブルを取り付ける加工が必要です。

※電源がオンになっている時は、パネル面「外部電源」ランプが点灯します。

デスクトップパソコンなどの電源操作をするには、改造を施したパソコンの電源端子を本体上面の「電源」ジャックに接続してください。また、ディップスイッチの 6 番をオフ(背面側)にしてください。

※パソコンの電源を操作するためには、パソコンの電源スイッチに改造を施す必要があります。詳しくはお問い合わせください。

※電源がオン/オフする動作時に、パネル面「外部電源」ランプが点灯します。

※接続する機器の動作保障は致しかねます。

ディップスイッチ 3～7



○外部制御

意思伝達装置や別の環境制御装置などをお使いの場合、1 つの操作スイッチを P コンダクター 2 と意思伝達装置などと共有して使うことができます。対象機器のスイッチ入力端子と、P コンダクター 2 上面の「制御」ジャックを接続して下さい。

「外部制御」機能を使うときは、本体右側面のディップスイッチの 7 番をオン(パネル側)にしてください。

パネルの 3 番を選ぶと「外部制御モード」になり、以降の 3 秒以下のスイッチ操作は P コンダクター 2 を素通りして対象機器のスイッチ入力端子に送られます。

3 秒以上スイッチ操作をすると、「外部制御モード」は解除され、スイッチ操作は P コンダクター 2 の操作に戻ります。

※「外部制御モード」時にはパネル面「外部制御」ランプが点灯します。

※接続する機器の動作保障は致しかねます。

故障かな？と思ったら

状態	原因	対策
スイッチを操作しても動かない	プラグの接触不良	スイッチの接続プラグを一旦外し、再度しっかりと差し込んでください。
	3 秒以上の持続入力が出来ていない	持続入力の出来る操作スイッチを使用してください
	充電池が消耗している	AC アダプタを接続してください
	P コンダクター 2 が止まっている	本体左側面のリセットボタンをボールペンの先などで押してください
赤外線信号を学習しない	学習する周囲の影響を受けている	以下のことに留意して再度学習してください 直射日光や照明の光が直接あたる場所をさける 赤外線学習孔と学習させたい赤外線リモコンを約 5cm 程度離す 赤外線リモコンの赤外線 LED を赤外線学習孔の正面に向ける
	赤外線信号の規格が、P コンダクター 2 と合っていない	他の機器を使用してください エアコンの赤外線信号は学習できません 松下電器産業製 CATV セットトップボックスなど一部学習できない機器もあります
赤外線信号を照射しても機器が動作しない	赤外線 LED が対象機器に向いていない	本体上面の赤外線 LED を操作対象機器に向けてください 向けることが困難な場合、外部送信ユニットを「送信」ジャックに接続し、外部送信ユニットの曲面を操作対象機器に向けてください
	周囲の影響を受けている	直射日光や強い照明の明かりを避けてください また、本体が蛍光灯の近くに設置されている時は、蛍光灯から離してください

規格

本体寸法	幅 180×高さ 100×奥行き 40(mm)
重さ	400g
電源	9V100mA 内蔵充電電池
チャンネル数	20 チャンネル 1 チャンネル:赤外線/呼び出し のいずれか切り替え 2 チャンネル:赤外線/外部電源 のいずれか切り替え 3 チャンネル:赤外線/外部制御 のいずれか切り替え 4～20 チャンネル赤外線

アフターサービス

保証期間：お買い日から 1 年間

- 正常なご使用において、製造上の不備により故障した場合は、お買い上げ日から 1 年間無料修理をいたします。
- 保証書にお買い上げ年月日、販売店名が明記されていることを確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に修理をご希望の場合には、再度本書の内容をご確認の上、販売店もしくは下記へ保証書を添えてご依頼ください。
- 以下の場合には保証期間内でも有償修理となります。
 - ✓ 保証書の提示がない場合
 - ✓ 保証書の所定事項の未記入もしくは字句を書き換えられた場合
 - ✓ 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障、損傷の場合
 - ✓ お買い上げ後の落下、水没などによる故障、損傷の場合
 - ✓ 火災、地震、落雷、水害およびその他の天災などによる故障、損傷の場合
 - ✓ 日本国外での使用の場合
- 保証期間後に修理をご希望の場合には、再度本書の内容をご確認の上、販売店もしくは下記へご依頼ください。

発売元

製造元

福祉支援サービス **コムイル**

〒577-0801 大阪府東大阪市小阪 2-16-7-102

電話 06-6781-2089 / ファックス 06-6781-2099

ウェブサイト <http://www.comil.jp/> メール info@comil.jp

有限会社 テクノサプライ

〒574-0013 大阪府大東市中垣内 7-3-3

電話 072-871-4112 / ファックス 072-873-4680